



「現状の特集」

理事長
平 良



2005年7月25日

発行人：平 良
編集：入試広報課
発行所：学校法人クラーク学園
〒229-8522
神奈川県相模原市青葉2-2-1
電話 042 (754) 1133

聖句

「いつまでも存続するものは、
信仰と希望と愛と、この三つである。
このうちで最も大きいものは、愛である。」

コリント人への第一の手紙 第13章 13節

私が理事長となつて二期が過ぎ、三期目に入つて九年間その職にある。同じ人間が長期間同じ地位にあるとしばしば間違いをおかすことになる。アメリカの大統領も二期に限られている。幸いに現在の法人が健全に運営されていることは有難いことである。理事会は必要とあれば直ちに集り、率直な意見が交換され、仕事を引受ける理事が現れる。教員は負担の多い中を熱心に教育を行つていている。小さい組織においては職員の兼務が多い中を落度なく事務の進行がすすめられている。又、短

期大学の多くのものが定員割れを生じている中にあって定員を上廻る学生を確保している。この定員を上廻ることは好ましいことではないが、本学を希望する学生が多いので、機会を開かなければと思いつつ定員超過になつてしまつてはいる。多くの学生を得ていてことから財務的にも健全である。

私の在任中に、パイプオルガンの設置、グランドの入手、体育館の建設といつた施設面での改善が果された。これは先輩が蓄積された資金を運用することによつて果されたものであり、資金繰りに苦心することもなく、たまたまその機会に、めぐり合わせただけのことであつて、クラーク学園を創立した先輩にいくらかでも報いることが出来たのではないかと思っている。

現状においては問題はないが、将来を見た場合におお長期の見通しと計画が必要とされるだろう。学生数を出来るだけ定員に近づけ、行きとどいた教育を更に進める必要があると共に、より高度な児童福祉、介護福祉の教育をするために考えなければならない問題

は残されている。それは多くの短大が指向している四年制大学への転換といった選択肢であるとは限らない。私は漫然と四年間の期間を過ごすことよりも、数年間の実務の経験をふまえて再教育を受ける機会を与えられることがより望ましい方向ではないかと考えている。

考へると、クラーク学園の端緒は現任者訓練といつたすでに経験を持つた保育士の再教育機関から始つたものであり、一つの発展の方向を示唆しているものではないかと思つてゐる。明年的創立五十周年を前にして活発な意見の交換を望んでゐる。

室に加え、快適な学園生活が営まれるに相応しい教室や学生ラウンジ、学生テラス、サークル室、シャワールームを創出しました。

二・住宅地でもある近隣環境への体育馆施設というボリュームのインパクトを最小とし、この近隣住環境の質の向上に貢献できるようになつました。

戸田・谷津建設JVには、工事期間中真摯な姿勢で施工に当たつて頂きました。この計画に携わられた多くの方々の熱意と御尽力で竣工した本体育馆が、今後も学生を始め多くの皆様に愛され、よりよい和泉を築き上げ、愛と奉仕の学園として教育を発展させていく所存でございまますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

体育馆は、アリーナ、リトミック

和泉短期大学 体育馆竣工

2006年度に迎える本学園創立50周年記念事業の一環として永年の懸案

でありました和泉短期大学体育馆が2004年11月13日(土)に定礎式および奉祝式を執り行いました。

これも偏に皆様方のご協力によるものと心から感謝申し上げます。

体育馆の概要は下記の通りです。



求めに応える人生を



和泉短期大学

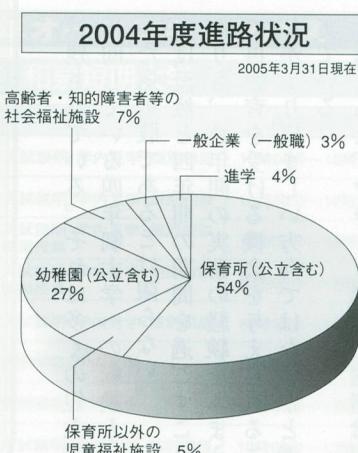
学長
伊藤
忠彦

私たちの学校法人クラーク学園は、二〇〇六年をもって創立五十周年を迎えます。この学園の「創立三十周年年誌」の冒頭に、

人生には一つの生き方があるようになります。

一つは自分が欲していること、望んでいることを追い求める人生、他は自分に求められていること、自分に寄せられた期待に応え、追い求めることになる人生です。多くの場合、私たちの人生は、このどちらか一つと言うことではなく、どちらかに片寄ることはあっても、この二つの生き方、すなわち自分の欲していることを追い求めるとともに、自分に求められていることを追い求めざるを得ない人生です。

この二つの生き方から、福祉や教育に從事する仕事を考えたときに、これらの仕事をは、自分の欲していることを追い求める生き方であるよりは、求めに応えて生きる生き方、しかも、この生き方をより高い次元でとらえて為されるものでなければならぬ仕事だと感じています。求めに応えて生きる生き方であつてもいいやがらするのではなく、できれば自分に課せられた尊い務め、天から与えられた仕事として自ら進んで従事する仕事です。



五 戰6三要領與交戰戰略

永年にわたり保育士養成に尽力貢献をした者を対象とする平成16年度会員校教職員表彰者として、2004年12月21日、本学より山内常博教授が表彰されました。

一人の女性が一生に産む子どもの平均数を示す「合計特殊出生率」が1.29だったことから、厚生労働省が公表した平成16年人口動態統計で分かりました。

またこの数値は過去最低を更新し昨年1年間に生まれた新生児数は約111万1千人で「少産」傾向はまだ続くと見られるが、保育所の待機児等の諸問題や採用に関する雇用形態の変化、既卒者の転職数の増加なども含め今後就職指導に影響を与えるのは必至の状態となっています。

しかし、本学においては、本年3月の卒業生355名のうち、保育福祉職として294名が就職し各分野でのこれから活躍が期待されます。

2006年に迎える本学園50周年記念事業の一環として、永年の懸案であつた体育館が昨年11月完成し、和泉短期大学父母会様より竣工記念に絵画寄贈のお申し出があり、学園としても大変喜ばしいことで本年3月18日の卒業式終了後体育館にて除幕式が行われました。除幕式には作者の川田祐子さんも列席され、父兄会会長のお言葉に続きご本人からもご挨拶を頂戴いたしました。式典終了後茶話会も催され、終始なごやかなムードで無事終了いたしました。

短期大学進路状況報告

絵画「ここに泉あり」
寄贈される

二〇〇四年度 短期大学教員研究業績

武石宣子教授

共著

「著書」

「あたらしい教養教育をめざして―大学教

育学会25年の歩み 未来への提言」

第一部、第二章、七「芸術教育と教養」

東信堂 二〇〇四年十一月

〔論文等〕

・単著

「リトミック教育に関する考察―教育思

想からのアプローチ」

二〇〇五年三月

〔学会発表等〕

・単著

「言葉と音楽そして身体表現へ」

日本レクリエーション協会 二〇〇四年度全国研究集会

二〇〇四年一〇月

〔芸術活動〕

・中島弘光教授

・単独

相模原社協ハンドベルコンサート

相模原教会 二〇〇四年十一月

・共同

小田原教会アドベントコンサート

小田原教会 二〇〇四年十一月

〔論文等〕

・中村美津子教授

・共同

「効果的な保育実習に関する研究II―保育実習の

ミラムスタンダード確立に向けて」

全国保育士養成協議会 二〇〇四年一〇月

〔学会発表等〕

・中川市次世代育成支援策行動計画策定

・共同

「面向て一小さな命で大きな未来、育ち

育てるまち かわさき」

川崎市児童福祉審議会 二〇〇四年一〇月

〔論文等〕

・原田康子教授

・共著

「あたらしい教養教育をめざして―大学教

育学会25年の歩み 未来への提言」

第一部大学教育学会25年の歩み

(1)「歴代会長インタビュー」(講和家第3代会長)

第Ⅱ部新設・教養教育の構築と未来への提言

第2章教養教育の実践と課題・五「生

命・環境科学教育と教養」

(3) 第Ⅲ部座談会「新しい教養教育をめざして」

東信堂 二〇〇四年十一月

〔論文等〕

・単著

「中学生・高校生の保育現場体験を支える

保育者と教師の連携 M幼稚園と中学生、K

保育園と高校生の二つの実践例より」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年三月

〔学会発表等〕

・共同

「生きる力を育む保育実践―幼児の運動能

力を引き出す」

日本保育学会第57回大会発表論文集 二〇〇四年五月

「保育園児と高校生との育ち合い―K保育

園と高校生との交流実践」

日本保育学会第57回大会発表論文集 二〇〇四年五月

・単独 「保育者養成における、生命科学教育とくに遺伝子学習の必要性」

全国保育士養成協議会第4回研究大会 二〇〇四年一〇月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第三報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年三月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第一報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年三月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第四報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第五報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第六報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第七報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第八報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第九報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十一報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十二報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十三報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十四報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十五報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十六報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十七報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十八報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第十九報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十一報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十二報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十三報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十四報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

「幼児の心身の健康に関する研究 (第二十五報)」

和泉短期大学研究紀要第25号 二〇〇五年五月

佐藤守男助教授

・著書

「塑像における彫刻 (第1報)」

・石膏かた

「彫刻 (第2報)」

・2004年4月23日～5月7日

「光画廊・銀座」

・2004年9月6日～9月11日

「彫刻 (第3報)」

・2004年10月3日～10月11日

「唐津市近代図書館」

・2004年10月16日～10月24日

「武雄市文化会館」

・2004年10月28日～11月3日

「佐賀県美術館・博物館」

・2004年11月16日～6月27日

「唐津市近代図書館」

・2004年6月16日～6月27日

「松坂屋本店・名古屋」

・2004年8月25日～8月31日

「銀座アート」

・2004年9月1日～9月5日

「新宿アートギャラリー・アンファン・新宿」

・2004年1月18日～1月28日

「銀河アート」

・2004年2月5日～2月13日

「彫刻百花展」

・2004年12月23日～2005年3月31日

「第28回国画会彫刻部秋季展」

・2004年9月28日～10月2日

「新世紀の顔・貌・KAO」

・30人の自画像

・2004年3月15日～3月27日

「アーバンネットC'Sビル・名古屋」

・2005年3月28日～2008年3月27日

「彫刻個展」

・2005年2月5日～2月13日

「アートスペース・ペルエッポク・高知」

・2005年2月19日～2月27日

「アートスペース東山・京都」

・2005年3月15日～3月27日

「新宿アートギャラリー・アンファン・新宿」

・2005年1月18日～1月28日

「銀河アート」

・2005年2月5日～2月13日

「新宿アート」

・2005年2月19日～2月27日

「新宿アート」

・2005年3月15日～3月27日

「新宿アート」

佐藤守男助教授

・著書

「塑像における彫刻 (第1報)」

・石膏かた

「彫刻 (第2報)」

・2004年4月23日～5月7日

「光画廊・銀座」

・2004年9月6日～9月11日

「彫刻 (第3報)」

・2004年10月3日～10月11日

「唐津市近代図書館」

・2004年10月16日～10月24日

「武雄市文化会館」

・2004年10月28日～11月3日

「佐賀県美術館・博物館」

・2004年11月16日～6月27日

「唐津市近代図書館」

・2004年6月16日～6月27日

「松坂屋本店・名古屋」

・2004年8月25日～8月31日

「銀座アート」

・2004年9月1日～9月5日

「新宿アート」

・2004年2月5日～2月13日

「アートスペース・ペルエッポク・高知」

・2004年2月19日～2月27日

「アートスペース東山・京都」

・2004年3月15日～3月27日

「新宿アートギャラリー・アンファン・新宿」

・2004年1月18日～1月28日

「銀河アート」

・2004年2月5日～2月13日

「新宿アート」

・2004年2月19日～2月27日

久富陽子助教授

・著書

「現代保育者論」

・異文化を背景に持つ子ども

の保育と支援

・学事出版

・2004年4月

「幼稚園・保育所・福祉施設実習ガイドブック」

・幼稚園・保育所・福祉施設実習ガイドブック

・保育園・保育所・福祉施設実習ガイドブック

矢野由佳子専任講師

・著書

「保育における心理臨床研修の実践 (2)」

・日本心理学会第68回大会

二〇〇四年九月

資料

宗教部活動

和泉短期大学宗教部は短大の宗教活動を担う部であります。聖歌隊、ハンドベルクワイア、ICF(キリスト教学生会)の3つの活動グループが有り、聖歌隊とハンドベルは、1983年に活動を開始して以来、20余年続けて来ることが出来、本年も隊員を与えられ活動を始めています。

聖歌隊は、2年生12名、1年生12名で、20名を越える嬉しい状況です。(ここ数年20名を欠いていたので……)

ハンドベルは、昨年より2年生チームは外部の方に指導を依頼し、活動をサポートして載いてます。本年は指導、指揮を同じ様に依頼し、2年生12名で活動開始しました。1年生はまだ希望者が少なく、チームの編成が急がれます。

ICF（キリスト教学生会）は、現在5名の学生の希望があり、活動を開始しています。夏休みにいざみ山荘にて2泊3日で行われる和泉サマーキャンプを目指して頑張っています。

クリスチヤン学生の少ない状況の中で建学の精神を良く理解して学ぶ学生のサポートを宗教部は総力をあげて取り組みたいと願っています。



眞鍋記念奨学金

本学園設立に功績のあった、故眞鍋頼一理事長からの寄付を基金として、在学中の成績優秀者に2年次の授業料の半額が支給されます。2004年度の特別奨学生は次のとおりです。

〔短期大学〕山本苗未、高橋 愛、田中宏美、山口 愛
〔専門学校〕仲里弘光

和泉短期大学では、学生が国際的な視野と経験を広め、かつ深められるようとの目的で毎年1回海外研修旅行を実施し、成果を重ねてきました。今年度は和泉福祉専門学校においても初めて海外での福祉研修旅行を実施することとなりました。

短期大学

研修先:イギリス(ロンドン・コツツウォルズ・エジンバラ)
研修期間:2005年8月22日~8月31日<10日間>

専門学校

研修先:デンマーク(コペンハーゲン・ヒレロド)
研修期間:2006年3月4日~3月12日〈9日間〉

第3回作文大賞 応募テーマ▶おじいちゃん、おばあちゃんが教えてくれたこと

和泉福祉専門学校では、青少年の介護への関心を高めるための公益的活動として第3回作文大賞を実施します。

【応募期間】2005年8月1日(月)～9月10日(土)

△短期大学 △採用	(05.4.1)
△昇任	小倉 常明 助教授
△就任	久富 角男 助教授
△渡辺	原田 陽子 総務課長代理 (車両担当)
△中村	原田 康子 教務部長
△中島	中村 美津子 図書館長
△佐藤	中島 弘光 宗教部長
△藤川	佐藤 守男 学生部長
△鈴木	藤川 いづみ 實業・ボランティアセンター長
△敏彦	鈴木 敏彦 入試広報部長
△運動	木村 文紀 教務課 (教務課)
△三好	木村 文紀 教務課 (学生課)
△順平	木村 文紀 教務課 (学生課)
△退任	（05.3.31）
△山内	原田 康子 図書館長
△内海	原田 美津子 学生部長
△阿部	中村 守男 教務部長
△専門学校	佐藤 守男 入試広報部長
△採用	出村 由利子 専任教員
△退職	（05.3.31）
△倉田	倉田 早織 総務課
△阿部	正昭 専任教員
△特別寄附金	(50周年記念事業のため)
△故 横瀬 久江氏	日本介護福祉教育学会 三十七万円
△故 河井 穣充 (クラーク学園前理事)	河井 穓充 (クラーク学園前理事) 五万円
△故 内海 潮氏	関歎ソフトクラブ 九千円
△故 大沼田 実氏	(元本学園経理課主任) 一千円
△故 (本学園前評議員)	謹んで哀悼の意を表します。
△故 曾根真理子氏	曾根真理子氏 (御祖母) 一万円
△故 大沼田 実氏	大沼田 実氏 (本学園前評議員) 五百円

2005年度予算の概要

学校法人会計基準に基づく予算には、資金収支予算書と消費収支予算書とがあります。

資金収支予算書の資金収入の部合計は、2,839,891千円で、資金支出合計1,235,725千円との差額である1,604,166千円が次年度への繰越支払資金（現預金）になります。前年度繰越支払資金より157,490千円の減少の見込みです。

消費収支計算書の帰属収入合計は1,089,739千円です。基本組入額は、25,535千円で消費収入合計は1,064,204千円です。これに対して消費支出は、1,017,405千円となり、46,799千円の収入超過となります。

財政の見通しについて

少子化による18歳人口の減少や受験生の4年制大学志向、大学改革等、高等教育機関である短期大学を取り巻く環境は、年々厳しさを増して、私学大競争の時代となり、短期大学の約4割が定員未充足の状態です。本学園でも教育研究活動の維持向上と全般的な支出の削減とのバランスを保ち、一層の財政基盤の強化を図らなくてはなりません。

2005年度は、施設設備の整備として図書書架、学生用パソコン、進路支援センター改修工事、短大校舎内塗装工事他、2006年度の学園創立50周年記念に向けてクラークホールに設置するステンドグラス等の事業も図られております。

以上のようなことから、学園の環境整備充実のために将来にわたり支出要因は多く、さらなる飛躍を目指して、今後とも教職員一人ひとりがコスト意識を持ち、一層の合理的・効率的な支出に努めて参ります。財務情報の公開や短大基準協会による認証評価制度など、本学に求められている社会的使命を全うし、高等教育機関の理念である教育・研究・社会貢献をするために、健全な運営に取り組んでいく所存であります。

資金収支計算書（概要）

収入の部

(単位：千円)

(単位：千円)

科 目	2004年度 決算額	2005年度 予算額
学生生徒等納付金収入	1,019,602	1,010,620
手数料収入	21,581	18,350
寄付金収入	1,134	1,000
補助金収入	39,235	28,200
資産運用収入	4,141	2,800
事業収入	1,049	3,400
雑収入	2,377	25,369
前受金収入	335,420	324,440
その他の収入	285,754	14,545
資金収入調整勘定	△ 343,000	△ 350,489
前年度繰越支払資金	1,599,845	1,761,656
資金収入合計	2,967,138	2,839,891

支出の部

科 目	2004年度 決算額	2005年度 予算額
人件費支出	478,749	528,666
教育研究経費支出	191,004	249,952
管理経費支出	74,200	87,137
施設関係支出	313,861	15,869
設備関係支出	36,063	23,823
資産運用支出	95,005	286,005
その他の支出	21,470	19,090
[予備費]		30,000
資金支出調整勘定	△ 4,870	△ 4,817
次年度繰越支払資金	1,761,656	1,604,166
資金支出合計	2,967,138	2,839,891

消費収支計算書（概要）

消費収入の部

(単位：千円)

(単位：千円)

科 目	2004年度 決算額	2005年度 予算額
学生生徒等納付金	1,019,602	1,010,620
手数料	21,581	18,350
寄付金	2,184	1,000
補助金	39,235	28,200
資産運用収入	4,141	2,800
事業収入	1,049	3,400
雑収入	2,377	25,369
帰属収入合計	1,090,169	1,089,739
基本金組入額合計	△ 216,551	△ 25,535
消費収入の部合計	873,618	1,064,204

消費支出の部

(単位：千円)

科 目	2004年度 決算額	2005年度 予算額
人件費	479,818	533,700
教育研究経費	276,224	353,149
(減価償却額)	(85,220)	(103,197)
管理経費	112,991	100,556
(減価償却額)	(13,438)	(13,419)
資産処分差額	1,584	0
[予備費]		30,000
消費支出の部合計	870,617	1,017,405
当年度消費収入超過額	3,001	46,799
前年度消費収入超過額	1,278,288	1,281,289
翌年度消費収入超過額	1,281,289	1,328,088

2004年度貸借対照表（概要） 2005年3月31日

資産の部

(単位：千円)

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	5,855,002	5,740,722	114,280
有形固定資産	3,829,249	3,605,220	224,029
土地	1,993,696	2,019,049	△ 25,353
建物	1,567,788	1,203,165	364,623
構築物	85,271	69,015	16,256
教育研究用機器備品	95,412	77,795	17,617
その他の機器備品	5,216	6,305	△ 1,089
図書	79,556	79,310	246
車両	2,310	4,620	△ 2,310
建設仮勘定	0	145,961	△ 145,961
その他の固定資産	2,025,753	2,135,502	△ 109,749
電話加入権	690	690	0
施設利用権	1,351	0	1,351
有価証券	21,000	141,000	△ 120,000
奨学貸付金	3,720	2,330	1,390
出資金	2,807	2,803	4
減価償却引当特定資産	1,764,097	1,674,097	90,000
退職給与引当特定資産	228,066	223,066	5,000
施設拡充引当特定資産	0	87,495	△ 87,495
第3号基本金引当資産	4,022	4,021	1
流动資産	1,763,093	1,666,806	96,287
現金預金	1,761,656	1,599,845	161,811
未収入金	810	66,328	△ 65,518
前払金	621	633	△ 12
立替金	6	0	6
資産の部合計	7,618,095	7,407,528	210,567

負債の部

(単位：千円)

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	229,093	228,024	1,069
退職給与引当金	229,093	228,024	1,069
流动負債	350,738	360,793	△ 10,055
未払金	4,238	3,038	1,200
前受金	335,420	342,190	△ 6,770
預り金	11,080	15,565	△ 4,485
負債の部合計	579,831	588,817	△ 8,986
基金の部			
第1号基本金	5,679,953	5,369,364	310,589
第2号基本金	0	94,039	△ 94,039
第3号基本金	4,022	4,021	1
第4号基本金	73,000	73,000	0
基金の部合計	5,756,975	5,540,424	216,551
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	1,281,289	1,278,287	3,002
消費収支差額の部合計	1,281,289	1,278,287	3,002
負債の部、基金の部消費収支差額の部合計	7,618,095	7,407,528	210,567

2004年度決算の概要

2004年度決算が5月28日（土）開催の評議員会ならびに理事会で承認されました。その概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、経営状態を表す「消費収支計算書」、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、財政状態を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

資金収支計算書は、2004年度中の全資金の流れを表示したものです。資金収入の総額は2,967,138千円となりました。これに対し、支出した資金の総額は、1,205,482千円となり、2005年度に繰り越される支払資金（現預金）は、1,761,656千円となりました。体育館建設代金を支出しましたが、2003年度に比べて161,811千円増加しました。

消費収支計算書は、当該年度の収入及び支出の均衡状態を表すことを目的にしています。収入の部では、帰属収入合計は1,090,169千円となりました。帰属収入の約94%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学園の運営に甚大な影響を及ぼすことになります。帰属収入は、学校法人の純資産を増加させる収入です。この帰属収入から第1号基本金である学校法人を継続的に保持していくための2004年度取得の固定資産（建物、構築物、備品等）、体育館完成により、第2号基本金の残高94,039千円を第1号に振り替えました。また第3号基本金である奨学基金との合計216,551千円を控除した消費収入の部合計は、873,618千円です。一方、支出面は支出の大半を占める人件費は、479,818千円で人件費比率は44%です。教育研究経費は、276,224千円です。教育研究活動に要する経費全般について効率的な支出に努めた結果です。管理経費は、112,991千円です。法人業務及び管理部門の維持管理運営費の効率的、効果的支出を図り、経費削減に努めた結果です。消費収入の部合計は、870,617千円です。その結果、収支差額は、3,001千円が消費収入超過となりました。

貸借対照表は、2004年度末における当法人の資産、負債、基本金等の状態を示すものです。なお減価償却費の対象資産（建物、構築物、機器備品等）については取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。資産の総額は7,618,095千円です。2003年度に比べ210,567千円増加しました。負債の総額579,831千円を控除した純資産は7,038,264千円で2003年度より219,553千円増加しました。

入試日程



和泉短期大学 児童福祉学科

〒229-8522 相模原市青葉2-2-1
TEL 042 (754) 1133

修業年限
2年間
取得資格・免許状
●保育士資格
●幼稚園教諭二種免許
●社会福祉主任用資格
●レクリエーション・インストラクター資格
募集人員
指定校推薦入学 100名 公募推薦入学 120名 250名(男・女) 専門高校推薦入学 若干名 一般入学 30名 社会人特別選抜 若干名

公募推薦入学・専門高校推薦入学

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
2005年10月19日(水)～10月26日(水) 郵送は10月24日(月)消印有効	11月2日(水)	11月4日(金)	11月7日(月)～11月17日(木)

一般入学

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
2006年1月16日(月)～1月26日(木) 郵送は1月25日(水)消印有効	2月1日(水)	2月3日(金)	2月6日(月)～2月17日(木)

社会人特別選抜

出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期間
2005年10月19日(水)～10月26日(水) 郵送は10月24日(月)消印有効	11月3日(水)	11月4日(金)	11月7日(月)～11月15日(火)



和泉福祉専門学校 介護福祉科

〒229-0011 相模原市大野台3-11-1
TEL 042 (753) 2311

修業年限
2年間
取得資格・免許状
●介護福祉士
●レクリエーション・インストラクター
(日本レクリエーション協会認定)(希望者)
●救急法救急員養成講習受講証・認定証
(日本赤十字社)(希望者)
募集人員
100名(男・女)

公募推薦入学

出願期間	試験日	合格発表日	入学手續期間
2005年10月1日(土)～10月6日(木) 郵送は10月4日(火)消印有効	10月8日(土)	10月9日(日)	10月11日(火)～10月14日(金)

一般入学

出願期間	試験日	合格発表日	入学手續期間
1次 2005年11月1日(火)～11月10日(木) 郵送は11月8日(火)消印有効	11月12日(土)	11月13日(日)	11月14日(月)～11月18日(金)
2次 2005年12月1日(木)～12月8日(木) 郵送は12月6日(火)消印有効	12月10日(土)	12月11日(日)	12月12日(月)～12月16日(金)
3次 2006年2月9日(木)～2月17日(金) 郵送は2月15日(水)消印有効	2月21日(火)	2月22日(水)	2月23日(木)～2月28日(火)
4次 2006年2月27日(月)～3月6日(月) 郵送は3月3日(金)消印有効	3月8日(水)	3月9日(木)	3月10日(金)～3月15日(水)

社会人入学試験

出願期間	試験日	合格発表日	入学手續期間
2005年9月1日(木)～9月7日(水) 郵送は9月5日(月)消印有効	9月10日(土)	9月11日(日)	9月12日(水)～9月16日(金)

2005年オープンキャンパス

和泉短期大学

開催期日	内 容	開催時間
第1回 6月18日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時30分
第2回 7月16日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時30分
第3回 8月2日(火)	入試説明・学内見学・個別相談 模擬授業	13時00分～16時00分
第4回 8月26日(金)	入試説明・学内見学・個別相談 模擬授業	13時00分～16時00分
第5回 9月11日(日)	入試説明・学内見学・個別相談	13時30分～16時00分
第6回 10月22日(土)	個別相談・学内見学	10時00分～13時00分
第7回 10月23日(日)	個別相談・学内見学	10時00分～13時00分
第8回 1月14日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時30分
第9回 3月25日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時30分

和泉福祉専門学校

開催期日	内 容	開催時間
第1回 5月28日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時00分
第2回 6月25日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時00分
第3回 7月23日(土)	入試説明・学内見学・個別相談 一日体験入学	10時00分～15時00分
第4回 8月23日(火)	入試説明・学内見学・個別相談 一日体験入学	10時00分～15時00分
第5回 9月24日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時00分
第6回 10月29日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	13時00分～15時00分
第7回 10月30日(日)	入試説明・学内見学・個別相談	13時00分～15時00分
第8回 11月26日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時00分
第9回 1月28日(土)	入試説明・学内見学・個別相談	10時00分～12時00分

学園祭のご案内

懐かしい学舎を訪れると共に、今の和泉をぜひ観に来て下さい。皆様のご来校を教職員一同心よりお待ち申し上げております。

和泉短期大学 10/22(土)・23(日)
和泉福祉専門学校 10/29(土)・30(日)

※ホームカミングデー開催



学園創立50周年にむけて

記念式典
日時 2006年5月13日(土)
11時より
場所 和泉クラーク・ホール



2004年秋竣工体育館アリーナ